

**CASBEE-建築(新築)2014年版**  
**伊都土地区画整理事業地内小学校(仮称)**

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版  
 ■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2014(v.2.0)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>3.0</b>
<b>Q1 室内環境</b>					<b>0.40</b>		-	<b>2.9</b>
<b>1 音環境</b>				<b>3.0</b>	0.15		-	<b>3.0</b>
<b>1.1 騒音</b>				<b>3.0</b>	0.40		-	
<b>1.2 遮音</b>				<b>3.0</b>	0.40		-	
1 開口部遮音性能				3.0	0.34	3.0	-	
2 界壁遮音性能				3.0	0.28	3.0	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0	0.19	3.0	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	0.19	3.0	-	
<b>1.3 吸音</b>				<b>3.0</b>	0.20	<b>3.0</b>	-	
<b>2 温熱環境</b>				<b>2.6</b>	0.35		-	<b>2.6</b>
<b>2.1 室温制御</b>				<b>3.0</b>	0.50		-	
1 室温		PAL値260MJ/年㎡		3.0	0.59	3.0	-	
2 外皮性能				3.0	0.38	3.0	-	
3 ゾーン別制御性				3.0	0.02	-	-	
<b>2.2 湿度制御</b>				<b>1.0</b>	0.20	<b>3.0</b>	-	
<b>2.3 空調方式</b>				<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	-	
<b>3 光・視環境</b>				<b>3.3</b>	0.24		-	<b>3.3</b>
<b>3.1 昼光利用</b>				<b>4.2</b>	0.30		-	
1 昼光率		昼光率:3.30		5.0	0.60	3.0	-	
2 方位別開口				-	-	3.0	-	
3 昼光利用設備				3.0	0.40	3.0	-	
<b>3.2 グレア対策</b>				<b>3.0</b>	0.30		-	
1 昼光制御				3.0	1.00	3.0	-	
<b>3.3 照度</b>				<b>3.0</b>	0.15	<b>3.0</b>	-	
<b>3.4 照明制御</b>				<b>3.0</b>	0.25	<b>3.0</b>	-	
<b>4 空気質環境</b>				<b>3.0</b>	0.25		-	<b>3.0</b>
<b>4.1 発生源対策</b>				<b>3.0</b>	0.50		-	
1 化学汚染物質				3.0	1.00	3.0	-	
2 アスベスト対策				-	-	-	-	
<b>4.2 換気</b>				<b>3.0</b>	0.30		-	
1 換気量				3.0	0.34	3.0	-	
2 自然換気性能				3.0	0.32	3.0	-	
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.34	3.0	-	
<b>4.3 運用管理</b>				<b>3.0</b>	0.20		-	
1 CO <sub>2</sub> の監視				1.0	0.50	-	-	
2 喫煙の制御		校舎及び敷地内は禁煙		5.0	0.50	-	-	
<b>Q2 サービス性能</b>				-	<b>0.30</b>		-	<b>3.3</b>
<b>1 機能性</b>				<b>3.5</b>	0.40		-	<b>3.5</b>
<b>1.1 機能性・使いやすさ</b>				<b>4.0</b>	0.40		-	
1 広さ・収納性				3.0	-	3.0	-	
2 高度情報通信設備対応				3.0	-	3.0	-	
3 バリアフリー計画		バリアフリー新法の建築物移動等円滑化基準を満たしている		4.0	1.00	-	-	
<b>1.2 心理性・快適性</b>				<b>3.0</b>	0.30		-	
1 広さ感・景観				3.0	0.47	3.0	-	
2 リフレッシュスペース				3.0	-	-	-	
3 内装計画				3.0	0.53	-	-	
<b>1.3 維持管理</b>				<b>3.5</b>	0.30		-	
1 維持管理に配慮した設計				3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		配管ピットにする等維持管理を容易とする		4.0	0.50	-	-	
3 衛生管理業務				-	-	-	-	
<b>2 耐用性・信頼性</b>				<b>3.2</b>	0.30		-	<b>3.2</b>
<b>2.1 耐震・免震</b>				<b>3.0</b>	0.50		-	
1 耐震性				3.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能				3.0	0.20	-	-	
<b>2.2 部品・部材の耐用年数</b>				<b>3.5</b>	0.30		-	
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				3.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		火気使用排気ダクトにはステンレス鋼板を使用		4.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		主要な用途上位2種の配管はB以上を使用、Eは不使用		5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20	-	-	

2.4 信頼性			3.4	0.20	-	-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備	節水型便器採用、雑用水槽及び雨水貯留槽設置、井戸水利用	4.0	0.20	-	-	
3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備	地域防災無線を設置、災害情報入手できる	4.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			3.3	0.30	-	-	3.3
3.1 空間のゆとり			4.0	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	基準階階高3.7m	4.0	0.57	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率:17.12	4.0	0.43	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0	-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.8
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.5	0.30	-	-	3.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		留守家庭子ども会、公民館・老人いこいの家を敷地内に設置	4.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.7
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.3
1 建物外皮の熱負荷抑制		南面に庇を設ける	5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		BEI 0.48	5.0	0.50	-	-	5.0
集合住宅以外の評価(3a.3b)		全熱交換器、LED照明、高効率機器を採用	5.0	1.00	-	-	
集合住宅の評価(3c)			-	-	-	-	
4 効率的運用			2.5	0.20	-	-	2.5
集合住宅以外の評価			2.5	1.00	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制			2.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	-	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.4
1 水資源保護			3.8	0.20	-	-	3.8
1.1 節水		節水型便器採用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.7	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無		グラウンド散水、トイレ洗浄水に雨水利用	4.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.5	0.60	-	-	3.5
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		再生クラッシュラン(スラブ・基礎下)、再生木プラスチック複合木材	4.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体と仕上材の分別容易、OAフロアを採用、可動間仕切を採用	5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
1 消火剤			-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50	-	-	
3 冷媒			3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.1
1 地球温暖化への配慮		CO2排出量34.53kg-CO2/年㎡<45.77-CO2/年㎡:CO2排出率	3.9	0.33	-	-	3.9
2 地域環境への配慮			2.5	0.33	-	-	2.5
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1 騒音			3.0	0.33	-	-	
2 振動			3.0	0.33	-	-	
3 悪臭			3.0	0.33	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.61	-	-	
2 砂塵の抑制			3.0	0.19	-	-	
3 日照障害の抑制			3.0	0.21	-	-	
3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		適正な照明計画、屋外広告物照明なし	4.0	0.70	-	-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	